

2021年度新規採用予定者内定式について

2020年10月1日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は2020年10月1日（木）10時から、国立研究所において、「2021年度新規採用予定者内定式」を行いましたのでお知らせいたします。

2020年度の内定式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初めてオンライン形式で行いました。内定式では、渡辺郁夫理事長から新規採用予定者18名に内定通知書が読み上げられ、その後の挨拶で、激励の言葉を贈りました。



写真 内定通知書を読み上げる理事長

理事長挨拶

本日、皆さんに鉄道総研への内定を通知できることを大変うれしく思います。ただ、例年のように皆様に鉄道総研に来ていただき、直接手渡しで内定通知書をお渡しできないのが、少し残念なところです。

さて、現在、新型コロナウイルス感染症の影響で世の中は大変な状況であるわけですが、鉄道総研においても、感染症防止の対応をしつつ、日ごろの業務を進めているところです。

今年度、鉄道総研は5年間の活動の計画「基本計画 RESEARCH 2025」のスタートの年として活動をしています。研究開発では安全性の向上、特に自然災害に対する鉄道の強靱化のための研究開発や、デジタル技術による鉄道システムの革新に資する研究開発などに重点を置き、鉄道の将来に向けた研究開発、実用的な技術開発、鉄道固有の現象解明などの基礎研究の3つの柱を立て、安全で、低コスト、環境にやさしく、利便性に優れた鉄道にするため、幅広い分野の研究開発に取り組んでいます。また、7月の豪雨による災害に対して鉄道事業者の要請により災害の調査や、復旧の提案などのコンサルティ

ング業務、国際規格化に関する活動など、550名の所員が一生懸命に各事業に取り組んでいるところで

す。
来年の4月には皆さんも我々の仲間に加わって一緒に仕事をしていただけることを待ち望んでいます。

皆さんは、これから修士論文、博士論文を仕上げる段階となりますが、まずは全力で修士論文、博士論文を仕上げてください。その際、その研究がどのように世の中の役に立つのか意識してほしいと思います。鉄道総研の使命は、「技術を創出して鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献する」ことです。皆さんの研究が、どのように使われるのか、役立つのかということを是非考えてください。

2つ目は、研究を指導いただいている先生や先輩、後輩、研究する上でお付き合いのある他の組織の方々、あるいは研究以外の例えばクラブ活動などで知り合う方々などとの交流を大切にしてください。いろいろな方との交流で、皆さんの視野が広がり、そのことは皆さんが鉄道総研に入社後も役に立つはずで

す。
そして3つ目に、通学などで鉄道をお客様として利用する際に、鉄道において課題や改善すべきことはないか、それを解決するために自分はどんな貢献ができるかなど、鉄道総研に入社した後のことも少し意識するようにはしていただきたいと思

います。
鉄道総研は皆さんの若い力を必要としています。来年の4月から、皆さんとともに仕事ができることを楽しみにしています。



写真 理事長挨拶